

第4回4大学学生交流会 感想文

慶應義塾大学 経済学研究科修士課程2年

角 晴美子

第4回4大学学生交流会は普段あまり関わりがないリーディングプログラム間で交流するというとても貴重な機会でした。通常、私は同じ大学院内という狭い世界での関わりしかないので、他大学院の先生方や学生の方々とお話しすることはとても新鮮で、普段とは違う考えに触れることができました。そして自分と同じ大学院生という立場で少しでも近い研究をしている人が自分の知らないところにいらっしゃるということを実感できたのはとても面白かったです。

今回は初めて自分が属しているリーディングプログラムを客観的に見ることができました。良い点、そして改善した方が良い点が見えてきました。この合宿は参加している大学院数やプログラムの内容がとても適切であったと思います。今まではリーディングフォーラムなどがありましたが、あまり他大学院の先生方や学生の方々とお話しすることがなかったからか、もしくは参加しているリーディングプログラムの数があまりに多すぎたためか正直そこまでよく分かりませんでした。

大木先生のワークショップ「リーディング博士のキャリアデザイン-将来の『キャリア』に思いを馳せる-」は大変興味深いものでした。専門外のこともよく理解していなければ自身の専門を上手く生かすことができないという当にどうしてリーディングプログラムが存在し、どうして自分は入っているのかということを改めて実感しました。更に自分が現在、そして将来どうありたいかも考えさせられました。

このような素晴らしい機会を下さり、どうもありがとうございます。本レポートを書くことにより、たとえ合宿形式で我々の活動日と被っていても今後は本学の先生方や学生の参加が出れば良いと存じます。